

実施計画事務事業の優先度の判断ポイントについて

現段階では、次に掲げる項目によって、実施計画事務事業の優先度を判断していきたいと考えています。ただし、計画の策定過程で必要に応じて項目の追加等をする可能性があります。

✓ **事務事業の熟度が高いか。【重要判断ポイント】**

事務事業の実現に向けては、庁内関係部局や市議会、市民などに対して説明責任を果たし、各局面で理解を得る必要があります。その際に、事務事業の目的や目標に対する貢献度のロジックが不明確であるなど不確定な情報が多ければ、理解を得ることが難しくなります。そのため、企画立案の熟度が高いものを優先度の高い事務事業として取り扱います。

✓ **P D C A サイクルに基づき既存の事務事業の振り返りが行われているか。**

限られた行政資源の中で、効果的に行政事務を展開するためには、P D C A サイクルに基づく不断の見直しが不可欠です。実施計画事務事業の作成にあたり、目的が類似する既存の事務事業の振り返りを行い、廃止や縮小といった既存事務事業の見直しを伴って提案された事務事業は、優先度の高い事務事業として取り扱います。

✓ **複数の目標達成へ相乗効果をもたらすか。**

事務事業の実施によってもたらされる多面的な効果に着目し、ひとつの事務事業で複数の目標の達成に資するような相乗効果をもたらすと考えられるものを優先度の高い事務事業として取り扱います。

✓ **計画期間中に実施することが適切か。**

実施計画の計画期間中に実施することで高い効果が得られる、または実施することが必要なものは、優先度の高い事務事業として取り扱います。

✓ **市民ニーズの重要度が高いか。**

市民意識調査（令和4年2月～3月実施）の結果や、市長公約などで市民ニーズを捉え、重要度が高いと評価する分野に資する事務事業は、優先度の高い事務事業として取り扱います。

✓ **施策のバランスがとれているか。**

総合計画に掲げる将来の都市像「笑顔と活力にあふれ みんなで未来を創るまち 茅ヶ崎」を達成するためには、特定の目標に資する事務事業に極端に注力し、バランスを欠くようなことがあってはなりません。そのため、目標の均衡を失するような優先度とならないよう施策のバランスに留意します。

✓ **今後、決定する重点戦略の実現に資するか。**

重点戦略のテーマは、市を取り巻く社会情勢や市の各部局の課題認識、総合計画審議会の意見等を踏まえ、今後、計画案の策定プロセスで固めていくこととしています。現段階での候補として想定されるテーマは次のとおりです。

重点戦略に位置付けるテーマの実現に資する事務事業は、優先度の高い事務事業として取り扱います。

重点戦略のテーマ候補

- **コロナ禍の教訓を踏まえた新興感染症に強い社会・地域づくり**
新型コロナウイルス感染症が収束に向かっても、新たな感染症が再び発生する可能性を想定し、新たな生活スタイルへの移行を促し感染症に強い社会・地域をつくります。
- **コロナ禍で停滞せざるを得なくなった社会経済活動の再興促進**
コロナ禍によって、多くの事業者や市民活動団体の活動が停滞してしまったことを踏まえ、活動の再興を促進します。
- **人口構成の世代間バランスの確保に向けた転入促進**
コロナ禍によって、湘南地域のポテンシャルが見直されており、多世代に住まいとして選んでもらえるよう、まちの魅力を磨き上げるとともに転入促進策を推進します。
- **市民サービスや行政事務のデジタル化**
コロナ禍で加速化された行政手続のデジタル化による市民サービスの向上や行政内部事務の効率化の動きを減速させないよう、デジタル・トランスフォーメーションを推進します。
- **SDGs 推進の加速化**
SDGs を共通目標として、公民連携を推進し、SDGs の実現に向けて取り組みを加速化します。
- **国土強靱化の推進**
災害に対する事前の備えとして、最悪の事態を念頭に、被害を最小化し、迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた地域経済社会の構築に向けて取り組みを進めます。
- **公共施設等総合管理の推進**
公共施設の老朽化が進む中、施設の長寿命化の推進と維持管理コストの最適化を進めるとともに、未利用の市有財産の有効活用を図り、施設の総量縮減と配置の適正化を進めます。